

廃棄物対策審議会議事録

会議名	平成29年度第2回廃棄物対策審議会
日時	平成29年7月26日(水) 13時30分～15時30分
場所	リサイクルプラザ・プラザ館2階 研修室3
出席委員	稲葉委員、恵良委員、高橋委員、鈴木委員、樋口委員、三木委員、春田委員、龍田委員、村越委員、中村委員、秋山委員、橋本委員
欠席委員	藤田委員
会長	稲葉委員
事務局	田中環境部長、糸井クリーンセンター所長、佐々木副所長、金子副所長、鈴木副所長、石田収集・リサイクル係長、村山管理計画係長、宮崎副主査、片浦副主査、横井主任主事
コンサルタント	株式会社環境技術研究所 石川管理技術者、栗原主任研究員、今岡係長、阪根技師
傍聴人	1人
議題	1 流山市一般廃棄物処理基本計画(案)について (1) 基本方針について (2) 減量目標について (3) 取り組み指標について 2 その他
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度「第2回流山市廃棄物対策審議会」次第 ・席次表 ・資料1 一般廃棄物処理基本計画作業イメージ(参考) ・資料2-1 一般廃棄物処理の基本方針(案) ・資料2-2 生活排水処理の基本方針(案) ・資料3 減量目標について(案) ・資料4 目標実現のための施策(参考)《取り組み指標》 ・資料5 審議会議事録(平成29年5月31日開催) ・参考資料1 ごみ発生量の減量目標の検討に用いる将来人口について ・参考資料2 減量目標の検討に用いた実績と将来予測
議事要旨	別紙のとおり

議事要旨

<ul style="list-style-type: none"> ・開会（13時30分） ・会長あいさつ ・議題 <ol style="list-style-type: none"> 1 流山市一般廃棄物処理基本計画（案）について <ol style="list-style-type: none"> （1）基本方針について （2）減量目標について （3）取り組み指標について 2 その他 ・閉会（15時30分） 	
佐々木副所長	<p>定刻となりましたので、ただいまから平成29年度「第2回流山市廃棄物対策審議会」を開会いたします。</p> <p>本日は傍聴される方がおられますので、傍聴にあたっての注意事項を申し上げます。まず、傍聴される方は「流山市審議会の委員の選任及び会議の公開等に関する指針第10条」に基づき、発言等はできませんので静粛に傍聴してください。また、撮影や録音等もできませんのでご注意ください。これに従わない場合には退席をお願いすることになりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、会議に先立ちまして今回から当審議会の支援業務を行いますコンサルタントに出席をいただいておりますのでご紹介させていただきます。</p>
コンサルタント	～挨拶～
佐々木副所長	それでは会議を始めますが、まず初めに稲葉会長からご挨拶をお願い申し上げます。
稲葉会長	～挨拶～
佐々木副所長	～配付資料確認～ それでは、これより本日の議事に入ります。 ここからの進行は稲葉会長に申し上げます。
稲葉会長	<p>本日の出席委員は12名です。</p> <p>従いまして、「流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」第4条第2項の規定に基づき、定足数に達しておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、議事に入りますが、まず「（1）一般廃棄物処理基本計画（案）について」事務局より説明願います。</p>
村山係長	～一般廃棄物処理の基本方針（案）について説明～
鈴木副所長	～生活排水処理の基本方針（案）について説明～
三木委員	<p>5Rから3Rになり削除したものは、「③不要なものを買わない、受け取らない（リフューズ）」、「⑤規則遵守（ルール）」ですか。</p> <p>また、リフューズは「①発生抑制（リデュース）」に含まれたと考えてよいですか。</p>
村山係長	そのとおりです。
稲葉会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、「（1）一般廃棄物処理基本計画（案）について」は事務局案のとおりとさせていただきます。</p> <p>続きまして、「（2）減量目標について」事務局から説明をお願いします。</p>

村山係長	<p>(2) 減量目標につきまして、詳しい内容は本日お招きしておりますコンサルタントからご説明させていただきます。</p> <p>なお、これからご説明いたします減量目標は、コンサルタントが推計した人口推計を基に算出しております。</p> <p>つきましては、今後、11月頃を予定して企画部門から流山市の人口推計値が出されましたら差し替えて算出しなおしますので、本日は減量目標の方向性についてご審議いただきますようお願いいたします。</p>
コンサルタント	～減量目標について説明～
春田委員	<p>数値目標の5番目としてCO2発生量を追加してほしい。また、1人1日当たりの家庭ごみ発生量を設定しているが、国の設定値では資源ごみを外しているのでそれに合わせてほしい。家庭ごみを設定するのであれば事業系ごみ発生量も設定してほしい。特にCO2については、ごみを減量する目的をしっかりとらえてもらいたい。</p> <p>ごみの現状を認識したうえで将来目標を追っていくことには賛成です。ただし、委員としてはもう少しわかりやすく正確に現状をつかみたいと考えています。私の調べた限りでは、本日の資料と千葉県で公表されている数値と違っているので確認してもらいたい。その他にも、流山市が平成28年度の数値を用いながら、他市が平成27年度の数値を用いているので、統一を図っていただきたい。</p>
稲葉会長	事務局から説明をお願いします。
糸井所長	春田委員にお伺いしたいのは、CO2発生量は市内全体のCO2発生量ですか。それともクリーンセンターから排出されるCO2に限りますか。
春田委員	基本計画に載せるのはごみに関してなので、クリーンセンターから排出されるものです。
稲葉会長	ごみ発生量というのはクリーンセンターで発生するものではないので、市全体になるのでは。
春田委員	ケロクルタウンの目標というのは、最終処分量を少なくしましょう、併せてCO2も減らそうとなっているので、クリーンセンターとしてCO2発生量も目標値に入れるべきではないでしょうか。
糸井所長	クリーンセンターに特化した形で記載してほしいということですね。実際には化石燃料やプラスチック類の焼却量から計算しておりますので、そのあたりにつきましてはコンサルタントと協議いたします。
春田委員	環境白書では毎年CO2の数値を出しているのですが、その数字を持ってくるだけでもいいのですが、数字を持ってくるだけではなく、ごみの量をどう抑え込むかを検討するわけですから、CO2発生量まで踏み込んでほしい。
稲葉会長	現状については白書から引っ張ってこられるかと思いますが、目標となると難しくなるのでは。
春田委員	以前、環境審議会で策定された目標数値があります。
稲葉会長	それは、具体的にどういう対策を講じてその目標へ向かっていくのですか。
春田委員	環境審議会では国の数値を基に策定したのであり、対策はクリーンセンターが考えるべきです。
糸井所長	「目標実現のための施策（参考）《取り組み指標》」にある30番のことでよろしいですか。

春田委員	こういった内容ではなく、クリーンセンターから出る CO2 発生量を管理してくださいということです。はっきり言うと、ごみの焼却量を減らせてことです。
稲葉会長	ご提案のごみの焼却量を減らすというのは、たとえば燃やされているプラをリサイクルに回すということですよね。
春田委員	いや、ごみの発生量を抑えるところから始まります。
稲葉会長	市民の方々に努力をお願いいただくということですよね。
春田委員	それは他の目標も同じことです。
稲葉会長	ごみの焼却量が減ったらどのくらい CO2 の発生量も減ったか推計できるということですか。
春田委員	そのとおりです。 「なんでごみを減らすのか」をもっと基本的に考えてほしい。 最終処分場を有していない流山市としては最終処分量を減らしましょう、ごみを燃やせば大気汚染になるため減らしましょう、だからごみを減らしましょうということ。もっと言えばごみ処理コストも減らしたいと考えている。何のためにごみを減らすのか、その方向性は間違えちゃいけないと私は言いたい。
コンサルタント	1人1日当たりの発生量で考えると流山市は努力している市です。 また、ケロクルタウンとして「大量廃棄・大量リサイクルからの脱却」とある部分については春田委員の考えにも即しているものとなっているのではないのでしょうか。 なお、循環型社会推進基本法の中ではサーマルリサイクルもリサイクルとして認めている。併せて、売電もしている。
春田委員	その話は白書に載っている内容です。 もう一つ、国の目標設定では資源ごみを外しておりますので、1人1日当たりの目標値から資源ごみを外して設定しなおしてもらいたい。
稲葉会長	CO2 発生量については今すぐ正確な数字が出せるかどうかは置いて、現状を把握して削減目標値を出すことについては、白書で出している数値を用いるのか、廃棄物処理事業として精査していかなければならないのか事務局とコンサルタントで検討していく必要がある内容だと思います。 他にご意見はありますか。
三木委員	CO2 に関して根本的にはいい話だと思います。 しかし、数値だけ出されてもごみを燃やした CO2 だけでなく使用した化石燃料であったり、リサイクルするにしてもコストがかかったり、係数とか根拠がわからないと理解しにくいです。「こうすれば減る」というところまで、みんなにわかるように書いてもらわないとちょっと大変な話かなと感じました。
春田委員	そのあたりも白書に載っています。
三木委員	資源化率については30%が目指せないから25%を目標にしたのですか。
春田委員	資源化率の計算は資源ごみに出した量で算出しています。集団回収で出されればいいのですが、スーパー等で回収されてしまうとカウントされる数字が減ってしまいます。資源化率算出の方法自体を見直すところに来ていると感じています。
三木委員	資源化率が上がればいいというものではないから、そういう目標を立てることがおかしいということですか。

春田委員	<p>そのとおりです。</p> <p>私が言いたいのは、クリーンセンターに持ち込まれたごみから資源化する努力してほしい。集団回収を除いて資源化率を算出するよう見直すべきです。</p>
三木委員	<p>家庭から出る資源ごみを集団回収に出すもしくはスーパー等に出すのは良いですね。つまり、リサイクルできるものをごみとして出すのをやめてもらいたいということですね。</p>
稲葉会長	<p>資源化率が上がること自体はいいことですが、全国的な課題として、スーパー等に持ち込まれている資源ごみをカウントできないことが挙げられます。市としては集団回収の分しかカウントできないから問題となっています。</p> <p>そのほかに何かありますか。</p>
春田委員	<p>なぜ1人1日当たりの目標値から資源ごみを外さなかったのですか。</p>
コンサルタント	<p>流山市の既存計画に基づいて算出しました。</p> <p>算入した場合と算入しなかった場合の併記でいかがでしょうか。</p>
春田委員	<p>事業系ごみ発生量の目標値を設定することについてはどうですか。</p>
糸井所長	<p>今後、どういう事業者が流山市に立地するのか予測不能であると考えます。</p>
鈴木委員	<p>現実問題として小学校等でアルミ缶回収をしたりしていますが、そもそもはそういうものも事業系です。しかし、実際は事業系ごみとしては算入されません。事業系ごみを目標値として設定することは困難ではないでしょうか。</p>
稲葉会長	<p>事業系ごみの予測は一定ですか、過去のトレンドから追っていますか。</p>
コンサルタント	<p>過去のトレンドから引っ張っています。</p>
稲葉会長	<p>正確な予測はかなり難しいですが、現時点では過去のトレンドから引っ張ることは出来るということですね。つまり、過去のトレンドから算出しているものに対し、定性的な削減対策をとることは非常に難しいという回答ですね。</p> <p>引き続き、コンサルタントから検討の余地があればご提案いただけるといいと思います。</p>
コンサルタント	<p>貴重な意見なので踏まえて検討します。</p>
稲葉会長	<p>(2) 減量目標についてまとめますと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみを1人1日当たりの目標値算出から外すこと また、予測や計算が難しい内容となってきますが ・事業系ごみの目標値を設けること ・CO2発生量の目標値を設けること <p>について回答できる範囲で検討いただけたらと思います。</p> <p>CO2に関しては発電している分、サーマルリカバリーとなり灯油の使用がどこかで回避されているはずですが、その分のCO2排出量が抑えられていることやごみの組成が変わった時のCO2の計算が必要になったりするので、今後、すぐに出せる目標かどうかも含めて検討が必要です。</p> <p>次に、「(3) 取り組み指標について」事務局から説明をお願いします。</p>
村山係長	<p>～取り組み指標について説明～</p>
高橋委員	<p>資料4に中間評価の○△×を記入してもらいたい。</p>
稲葉会長	<p>資料4は次回以降に皆さんに議論いただく具体的施策の参考資料ですので、これ以外に新しく追加した方が施策や提案などがございましたら次回以降お聞きしたいと思います。</p> <p>それでは次に、議題の2「その他」についてですが、何かありますか。</p>

鈴木委員	<p>～鈴木委員持参の下記資料を配付～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急的な食糧支援（ミニフードバンク）について ・消臭剤噴霧装置を取り付けた収集車について <p>前回に引き続き、食品ロスに関してフードバンクの資料をお持ちしました。 また、収集車やごみステーション内に消臭剤を入れることで臭い対策できる記事がありましたのでお持ちしました。次回以降の個別施策に関する審議の参考になればと思います。</p>
稲葉会長	<p>ありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しいたします。</p>
佐々木副所長	<p>次回の審議会につきましては、人口推計の算出の兼ね合いもありますので、秋頃を予定させていただきます。詳細日程につきましては改めてご通知させていただきますのでご参加お願いいたします。 本日は長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。</p>